

Psychophysical

NEW WAVE Part 3

皮膚・身体・コミュニケーション・アート展

USUSU

青木万有子

佐々木由希

特別参加・鷺田清
+ 眞田岳彦

棚田康司

津田亜紀子

野田風

2003/9/17 [水] - 10/26 [日]

女子美祭期間 10/24[金]-26[日]

9/23[日] 祝日開館、24[日] 休館

10/24(金)-25(土) USUSU ライブパフォーマンスイベント in JAM
両日ともPM18:00開場 18:30開演

女子美アートミュージアム

神奈川県相模原市麻溝台1900 TEL 042-778-6801 直通

主催：女子美術大学 女子美アートミュージアム

後援：相模原市 相模原市教育委員会 神奈川新聞社

J-COM Broadband 相模原 エフエムさがみ 株式会社タウンニュース社

開館時間：10:00-17:00 (入館は 16:30 まで)

入館料：300 円

無料：シルバー (65 歳以上) 学生・生徒 (身分証明書持参者) 児童 (大人同伴)
障害者手帳持参者 (介添え人を含む)

小田急線相模大野駅から神奈川中央交通バス
[女子美術大学行] 終点下車 (約 20 分)
<http://www.joshibi.ac.jp>

JAM
JOSHIBI ART MUSEUM

皮膚・身体・コミュニケーション展

『皮膚・身体・コミュニケーション展』-サイフィジカル-
New wave Part 3

2003/9/17 [水] - 10/26 [日]

女子美祭期間 10/24[土]-26[日]
9/23[日] 祝日開館、24[日] 休館

女子美アートミュージアム

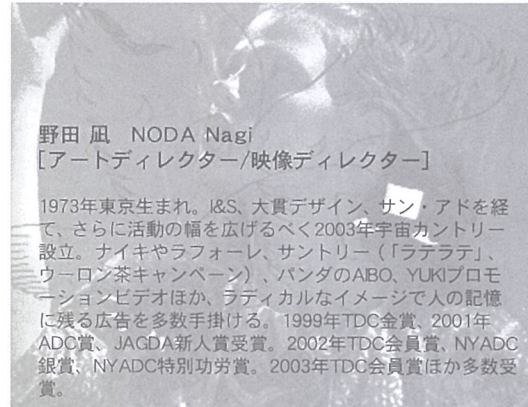
多様性と不透明な時代といわれる今日、あるいは急速に進む情報化の社会で、身体と思考の同一性を獲得することの難しさが引き起こす様々な問題を我々は抱えています。今回の『皮膚・身体・コミュニケーション』展は、「カラダ」と「心」と「自己と他者・社会」との関係性を問い直すことをテーマとして、それぞれの手法やフィールドで創作を続けている若手作家を特集し、クロスオーバーな現代アートの展覧会企画となっています。

木彫、樹脂彫刻、テキスタイル、コラグラフ、写真、パフォーマンスやコマーシャル映像といったメディアミックスで様々な次元を用いながら「自己と他者」や「ヒトの存在」をテーマとして創作に取り組んでいる作家たちの創り出す衣服や彫刻や映像は、それを見るものに身体とは何か、意識とは何か、他者や社会とのコミュニケーションとは何かという問いかけとなって跳ね返ってきます。物理的存在としての「人体」、生命体としての「身体」、それから意識を持ち思考し社会を形成する「人間」といった次元のはざまをめぐる関係性が中心のテーマとなっています。これらの創作活動は、情報化と多様化が進む現代に生きる個々人の持つ思考と身体との同一性と悩みに対して、人間や社会というものの持つ意味や存在の位置を検証し提示していく哲学的な作業といえます。

今回特集した作家それぞれの思索と創作の相互作業を通して掘り起こされる人間存在の意味や形象が、ギャラリー空間の中で対峙しつつ共振します。そしてそこから、はじめて浮かび上がり見えてくる「生きる」や「思索すること」に対するサジェスションを感じ取ることが出来れば幸いです。

女子美アートミュージアム館長 ヤマザキミノリ

企画制作協力：
眞田岳彦+平戸真児+井上尚子+新津亜土華+新堀孝明



野田 凪 NODA Nagi
[アートディレクター/映像ディレクター]

1973年東京生まれ。I&S、大貫デザイン、サン・アドを経て、さらに活動の幅を広げるべく2003年宇宙カントリー設立。ナイキやラフォーレ、サントリー（「ラテラテ」ウーロン茶キャンペーン）、パンダのABO、YUKIプロモーションビデオほか、ラディカルなイメージで人の記憶に残る広告を多数手掛ける。1999年TDC金賞、2001年ADC賞、JAGDA新人賞受賞。2002年TDC会員賞、NYADC銀賞、NYADC特別功労賞。2003年TDC会員賞ほか多数受賞。



棚田 康司 TANADA Koji [彫刻家]

1968年 兵庫県生まれ
1993年 東京造形大学卒業
1995年 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
1999年 ミヅアートギャラリー／東京
2000年 「素材の予感」マダダスタジオ（東京）
2001年 「オレにはオレがこう見える」
（ミヅアートギャラリー／東京）
「FLAGSHIP 2001 Tour」
（エキシビション・スペース・東京）
2001～02年 「Sex & Consumerism展
Contemporary Art in Japan」
（イギリス各地を巡回）
ちがさきアートNOW
「四つの部屋—身体—の虚実」
（茅ヶ崎美術館・茅ヶ崎）



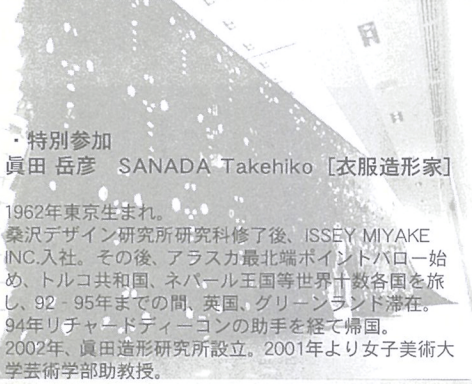
青木 万有子 AOKI Mayuko [写真家]

1976年 神奈川県生まれ
2000年 cocoonとして表参道ROCKETにて「フカ展」
2001年 女子美術大学芸術学部環境計画情報系卒業
吉祥寺スターハインズカフェにて
「勝造マニア」展示
2002年 雑誌「Lollie」「SPORTS&STREET」（イタリア）
「Strive」フライヤー
「Jugglin'」（タワーレコード）
「LINK DI VIBES」（strive）など
2003年 スタジオカワグチ勤務
フリーカメラマンとして雑誌で活動



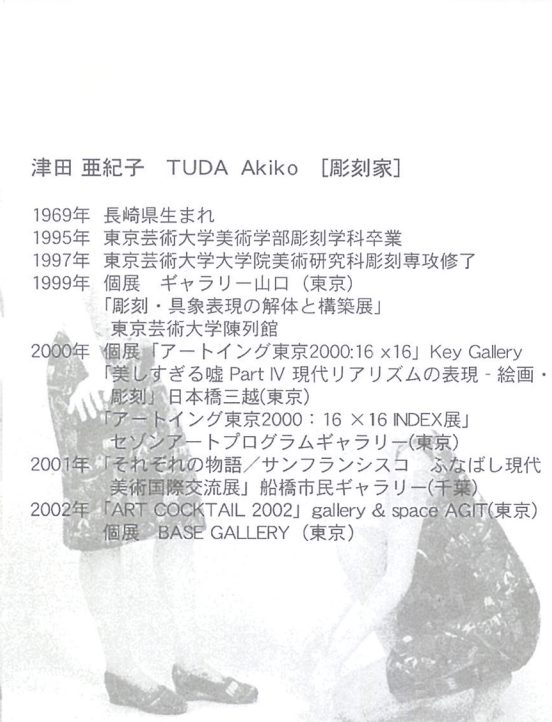
佐々木 由希 SASAKI Yuki [版画家]

1979年 鳥取県生まれ
2003年 女子美術大学大学院美術研究科版画領域修了
現在 メキシコ芸術アカデミー在学中
2002年 院生展（女子美アートミュージアム）
東京ワンダーウォール2002 入選
第12回ART BOX大賞展 版画芸術賞
夢フェスタとっとり『版画の祭典』
文部科学大臣奨励賞
Student International Art Biennial,2002
GRAND PRIX
大学版画展（町田市国際版画美術館）
2003年 グループ展 SQUEEKS（東和ギャラリー／銀座）
2人展（ART BOXギャラリー／銀座）
女子美術大学 大久保婦女子賞



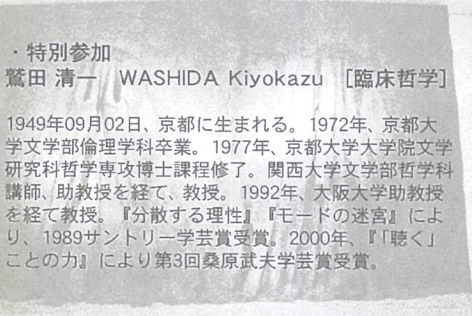
・特別参加
眞田 岳彦 SANADA Takehiko [衣服造形家]

1962年東京生まれ。
桑沢デザイン研究所研究科修了後、ISSEY MIYAKE INC.入社。その後、アラスカ最北端ポイントバロ一始め、トルコ共和国、ネパール王国等世界十数各国を旅し、92-95年までの間、英国、グリーンランド滞在。94年リチャードディーコンの助手を経て帰国。2002年、眞田造形研究所設立。2001年より女子美術大学芸術学部助教授。



津田 亜紀子 TUDA Akiko [彫刻家]

1969年 長崎県生まれ
1995年 東京芸術大学美術学部彫刻学科卒業
1997年 東京芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
1999年 個展「ギャラリー山口（東京）」
「彫刻・具象表現の解体と構築展」
東京芸術大学陳列館
2000年 個展「アートイング東京2000:16 x16」Key Gallery
「美しすぎる嘘 Part IV 現代リアリズムの表現 - 絵画・彫刻」日本橋三越(東京)
「アートイング東京2000：16 x 16 INDEX展」
セゾンアートプログラムギャラリー(東京)
2001年 「それぞれの物語／サンフランシスコ ふなばし現代美術国際交流展」船橋市民ギャラリー(千葉)
2002年 「ART COCKTAIL 2002」gallery & space AGIT(東京)
個展「BASE GALLERY（東京）」



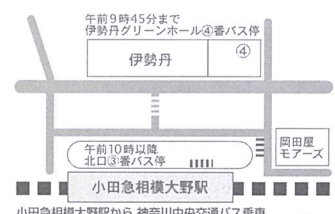
・特別参加
鷺田 清一 WASHIDA Kiyokazu [臨床哲学]

1949年09月02日、京都に生まれる。1972年、京都大学文学部倫理学科卒業。1977年、京都大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程修了。関西大学文学部哲学科講師、助教授を経て、教授。1992年、大阪大学助教授を経て教授。『分散する理性』『モードの迷宮』により、1989サントリー学芸賞受賞。2000年、『「聴く」ことの力』により第3回桑原武夫学芸賞受賞。

USUSU [パフォーマンス]

2001年、城戸晃一、新堀孝明、南隆雄の3人が、ライブ映像パフォーマンスの可能性を切り開くために結成。パフォーマンスの城戸、MAX/Jitterを駆使したリアルタイム映像システムでライブに挑む新堀、城戸のプロモーション・ビデオを一環して手掛ける南の布陣で精力的に活動中。2003年2月、4回目のライブが、横浜ダンスコレクション2003「ソロメデュオ コンペティション」にて「若手振付家のための在日フランス大使館賞」受賞。

開館時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）
入館料：300円
無料：シルバー（65歳以上）学生・生徒（身分証明書持参者）児童（大人同伴）
障害者手帳持参者（介添え人を含む）



神奈川県相模原市麻溝台1900
TEL 042-778-6801 直通

